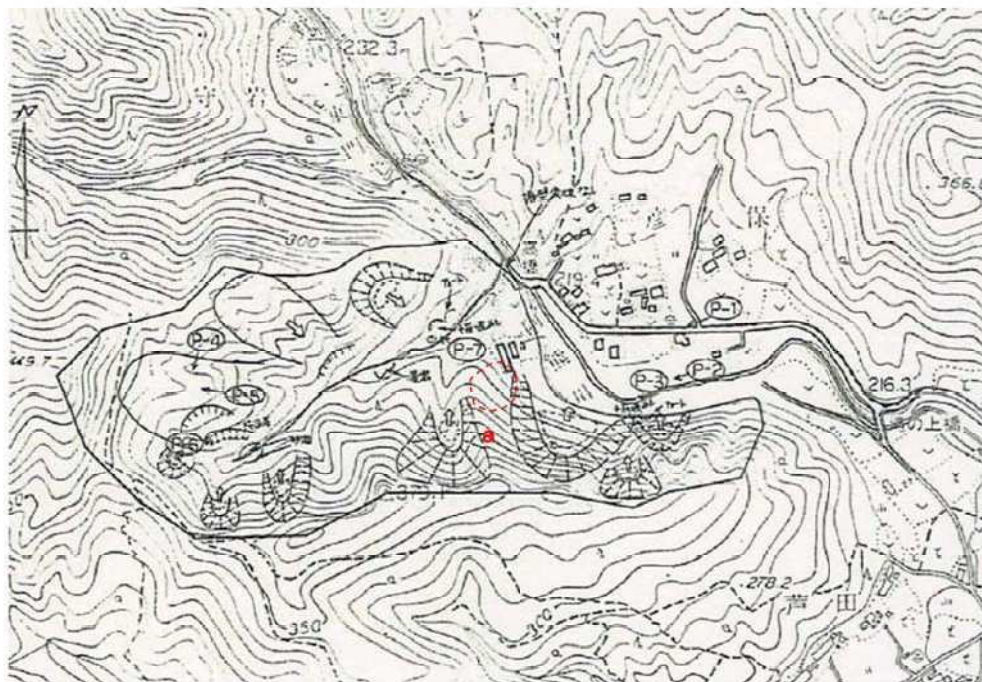


地 滑 り 区 域 調 査 書

様式2-4 資料調査結果図

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	調査年度	平成〇〇年度
地滑りブロック名	〇〇a	既往調査による地滑りブロックの番号			埼玉県〇〇市〇〇		
					箇所区分	地すべり危険箇所	



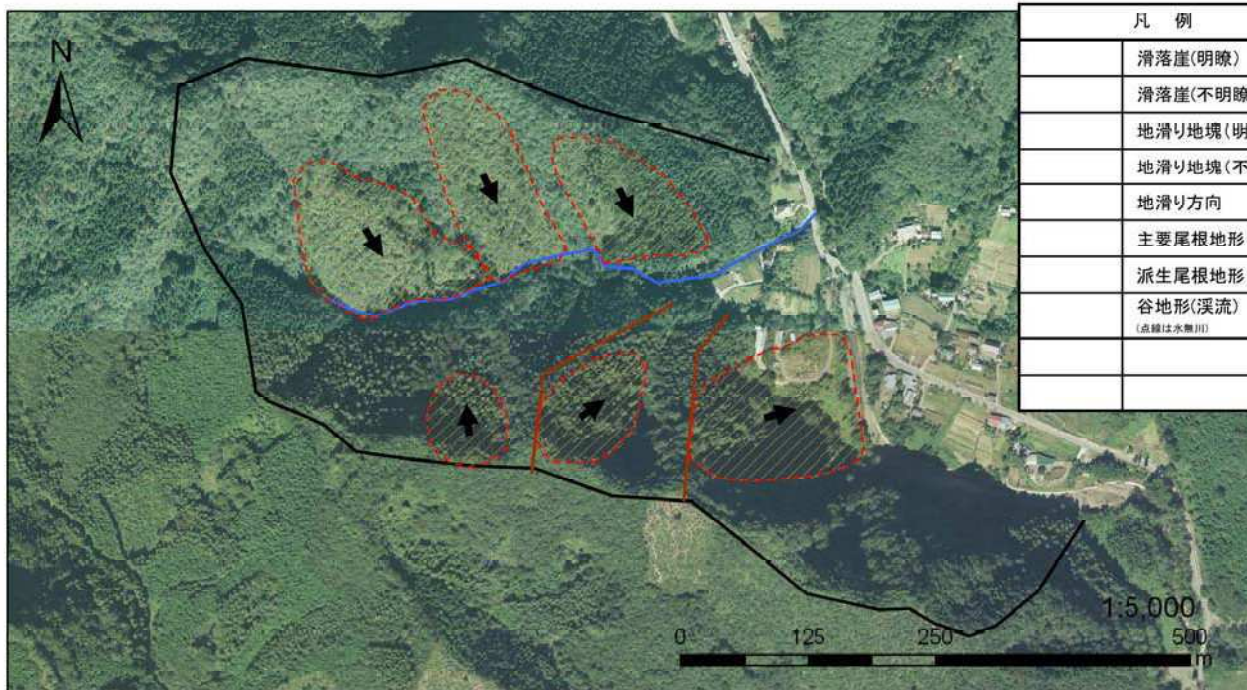
地すべり斜面カルテ3(平成11年3月10日作成)より

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式2-5 地形調査結果図

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	調査年度	平成〇〇年度
写真判読に使用した空中写真の諸元	撮影年月	平成16年3月	写真の縮尺	1/12,500	埼玉県〇〇市〇〇		
地滑りブロック名	〇〇a	既往調査による地滑りブロック名の番号			箇所区分	地すべり危険箇所	

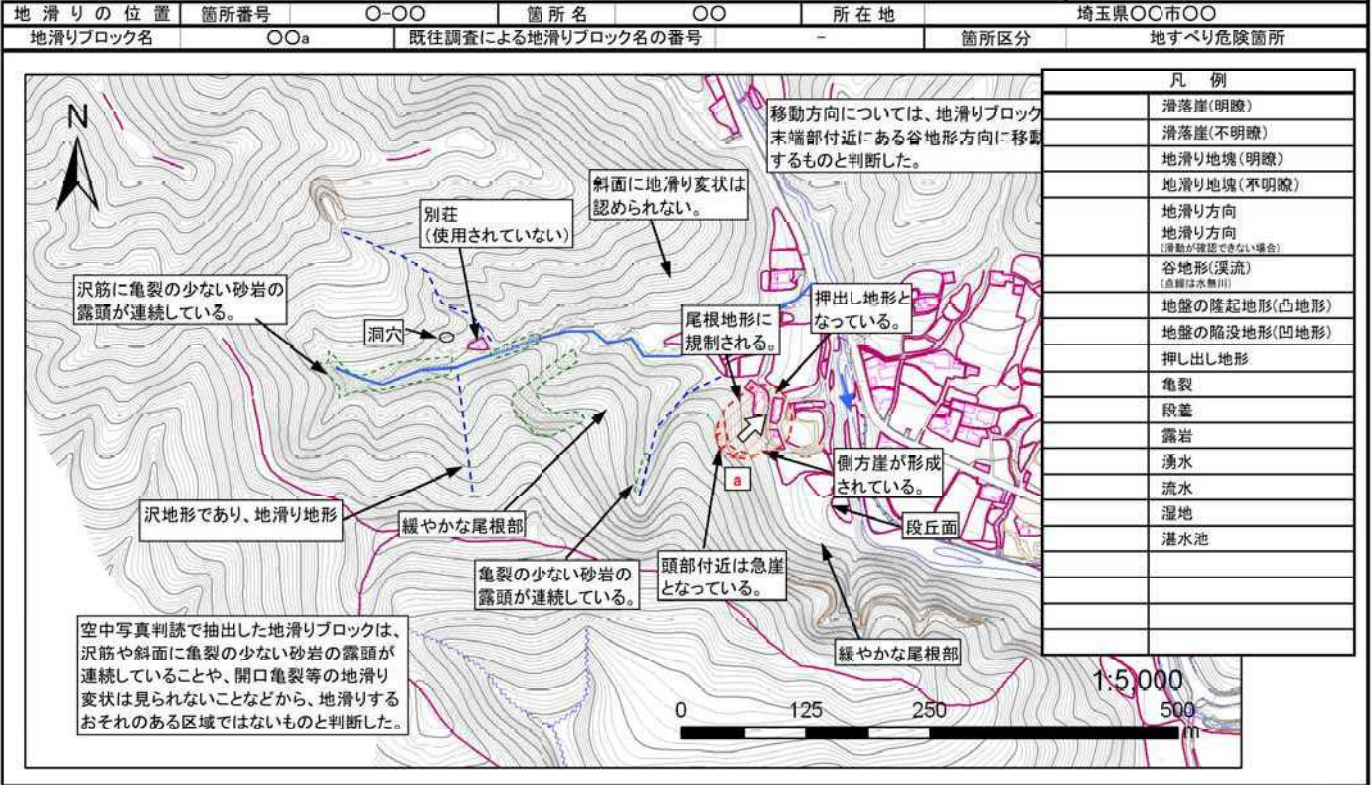


凡 例	
	滑落崖(明瞭)
	滑落崖(不明瞭)
	地滑り地塊(明瞭)
	地滑り地塊(不明瞭)
	地滑り方向
	主要尾根地形
	派生尾根地形
	谷地形(溪流)
	(点線は水無川)

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査

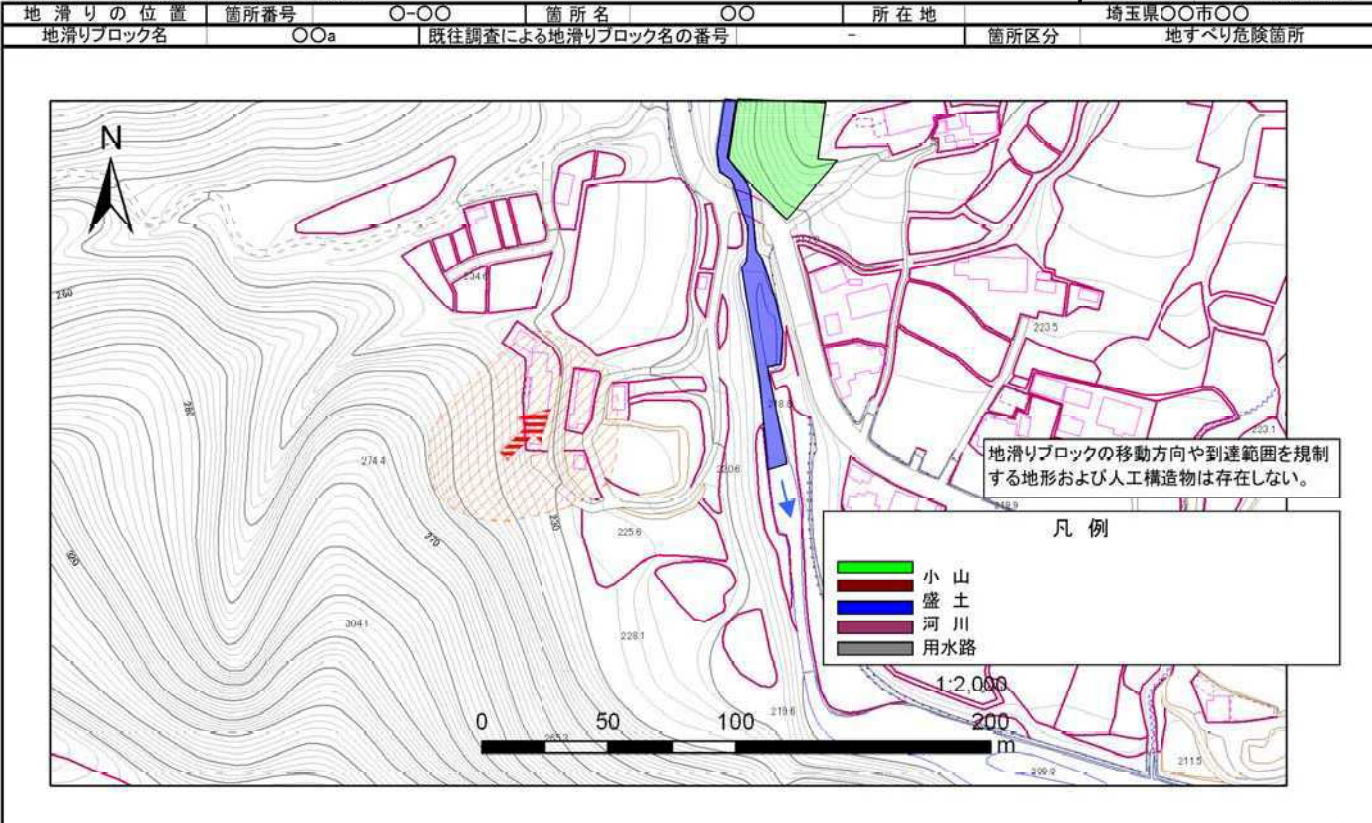
様式2-6 現地調査結果図



埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査

様式2-7 地形及び人工構造物等の状況図



埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式3-1 危害のおそれのある土地等の設定図及び建築物に作用すると想定される衝撃に関する事項

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分	〇〇	C	箇所区分	地すべり危険箇所	

凡 例

	地滑り区域
	地滑り方向(滑動が確認できる)
	地滑り方向(滑動が確認できない)
	特定境界線(確定)
	特定境界線(推定)
	端点(末端 上下端点)
	危害のおそれのある土地の区域
	著しい危害のおそれのある土地の区域

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式3-1(1) 危害のおそれのある土地等の調査等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇				
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分	〇〇	C	箇所区分	地すべり危険箇所				
地 形 概 要	地滑り区域の長さ	164m	地滑り区域の幅	67m						
危害のおそれのある土地の状況		土地の面積		9,198 m ²						
土 地 利 用	道 路	水 路	池 沼	宅 地	農 地	山 林	備 考			
地滑り区域内	有	無	無	有	有	有				
地滑り区域下方	有	無	無	有	有	有				
人 家 戸 数	1	戸								
公 共 施 設 等 の 状 況	道路	県道204号15m			水路	阿熊川30m				
	鉄道	-			その他	-				
危 害 の お そ れ の あ る 土 地 等 の 調 査	公共的建物全施設数		0		内、災害弱者関連施設数		0			
	建物番号	種類	構造	名称	備考	建物番号	種類	構造	名称	備考
	1					6				
	2					7				
	3					8				
	4					9				
	5					10				
	著しい危害のおそれのある土地の状況		土地の面積		-					
	土 地 利 用	道 路	水 路	池 沼	宅 地	農 地	山 林	備 考		
	人 家 戸 数	全戸数	木造戸数	非木造戸数						
公 共 施 設 等 の 状 況	道路				水路					
	鉄道				その他					
著 しい 危 害 の お そ れ の あ る 土 地 等 の 調 査	公共的建物全施設数				内、災害弱者関連施設数					
	建物番号	種類	構造	名称	備考	建物番号	種類	構造	名称	備考
	1					6				
	2					7				
	3					8				
	4					9				
	5					10				
	警戒避難体制に関する調査	地域防災計画への記載	無	自主防災組織の有無	有	伸縮計等の計測機器の設置状況	無			
	観測の雨量計の位置等	所在地	埼玉県〇〇市〇〇7102-3		名称	〇〇	管理者	埼玉県		
	基準雨量の設定	有	基準雨量(mm)	大雨注意報:1時間30mm、3時間50mm、24時間100mm以上、大雨警報:1時間60mm、3時間100mm、24時間250mm以上						
予警報等情報伝達システム	無	整備状況等								
避難場所の設定	有	避難場所	〇〇総合支所		所在地	〇〇市〇〇6565-2		建築構造 鉄筋コンクリート		
避難路の設定	無									
住民への防災情報周知状況	防災ハントブックの配布、防災行政無線									
防災訓練等の実施状況	総合防災訓練(防災週間)									

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式3-2(2) 危害のおそれのある土地等の調査等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分	C	箇所区分	地すべり危険箇所	

関係諸法令の指定状況

主に災害の防止に関する事項			
法律名	法規制区域・地区	有無	備 考
砂防法	砂防指定地	有	
地すべり等防止法	地すべり防止区域	無	
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域	無	
森林法	保安林	無	
	保安施設地区	無	
建築基準法	災害危険区域	無	
宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域	無	

主に土地の現状に関する事項

法律名	法規制区域・地区	有無	備 考
統計法	人口集中地区	無	

主に建築や開発の動向に関する事項

法律名	法規制区域・地区	有無	備 考
都市計画法	市街化区域	無	
	市街化調整区域	無	
	未線引き区域	無	
	準都市計画区域	無	
	風致地区	無	
過疎地域自立促進特別措置法	過疎地域	無	
総合保養地域整備法	特定地域	無	
自然公園法	国立公園	無	
	国定公園	無	
県立自然公園条例	県立自然公園	有	県立〇〇自然公園
都市緑地保全法	緑地保全地区	無	
自然環境保全条例	原生自然環境保全地域	無	
	自然環境保全地域特別地区	無	

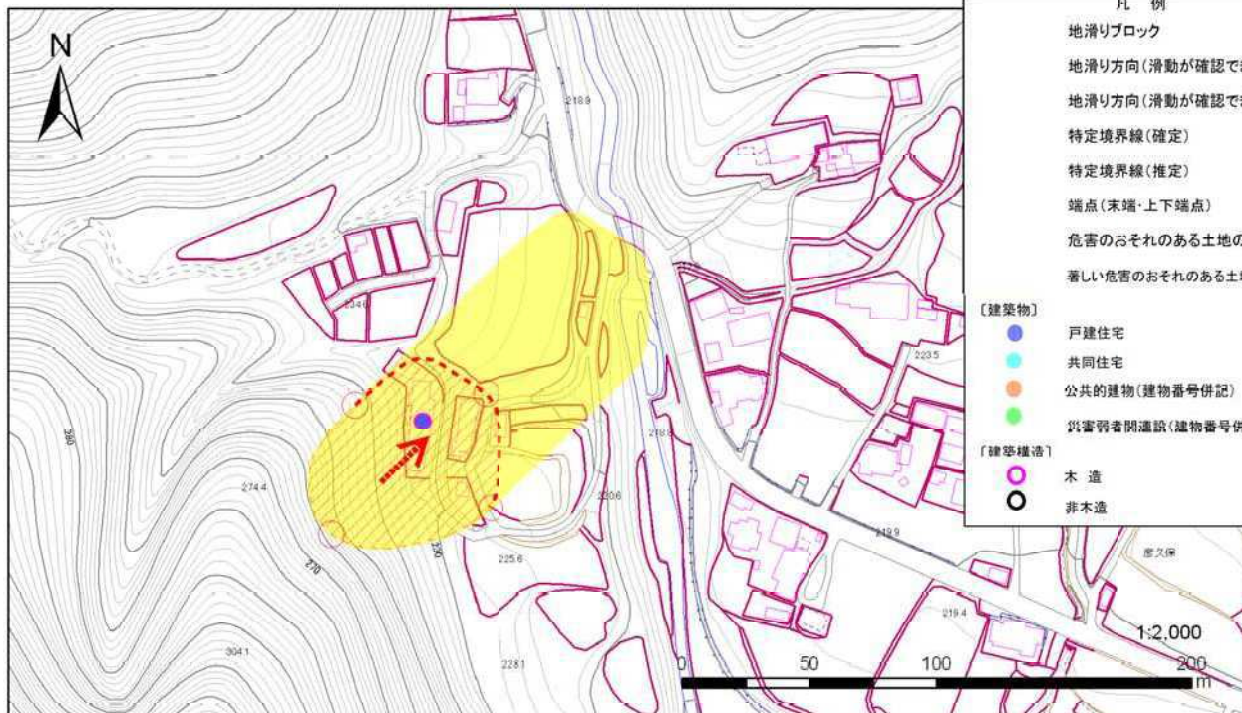
埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式〇 〇 人家等の建築構造状況図

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分	C	箇所区分	地すべり危険箇所	

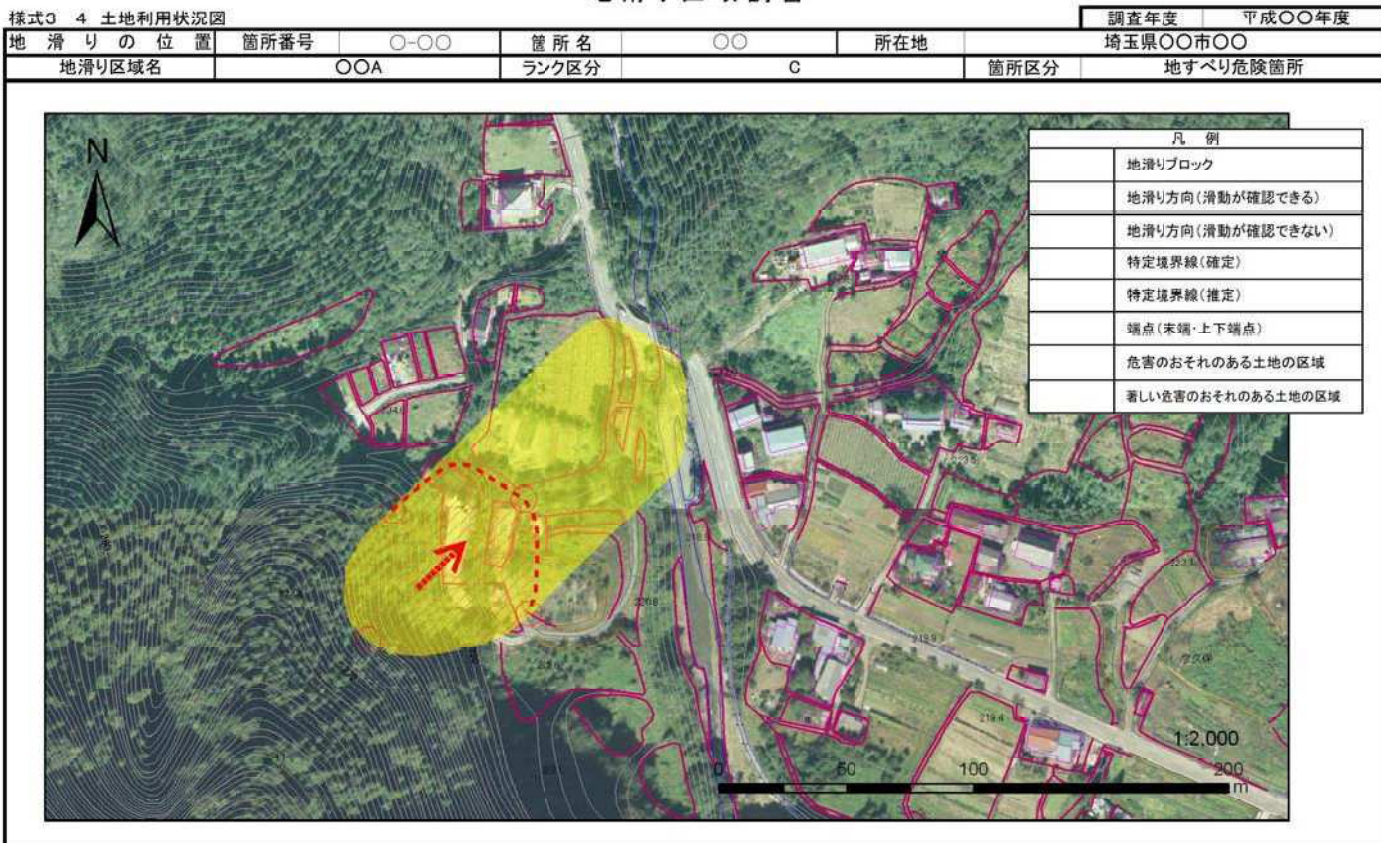


- 凡 例
- 地滑りブロック
 - 地滑り方向(滑動が確認できる)
 - 地滑り方向(滑動が確認できない)
 - 特定境界線(確定)
 - 特定境界線(推定)
 - 端点(末端・上下端点)
 - 危害のおそれのある土地の区域
 - 著しい危害のおそれのある土地の区域
- 〔建築物〕
- 戸建住宅
 - 共同住宅
 - 公共的建物(建物番号併記)
 - 災害弱者関連施設(建物番号併記)
- 〔植等種別〕
- 木 造
 - 非木造

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式〇 4 土地利用状況図



埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式〇 5 宅地開発の状況および建築の動向

						調査年度	平成〇〇年度				
地 滑 り の 位 置		〇-〇〇		箇 所 名		〇〇		所 在 地		埼玉県〇〇市〇〇	
市 町 村 名		埼玉県〇〇市									

1) 人口の経年変化	15年前(人)(ア) (平成7年)	10年前(人)(イ) (平成12年)	増 減		5年前(人)(ウ) (平成17年)	増 減		基準年(人)(エ) (平成22年)	増 減	
			人 口 (人) (イ-ア)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)		人 口 (人) (ウ-イ)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)		人 口 (人) (エ-ウ)	率[(エ-ウ)/ウ] ×100(%)
都市計画区域内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市街化区域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市街化調整区域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
都市計画区域外	75,618	73,875	-1,743	-2.31	70,563	-3,312	-4.48	66,939	-3,624	-5.14
準都市計画区域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2) 都市計画区域の変遷	15年前(ha)(ア) (平成7年)	10年前(ha)(イ) (平成12年)	増 減		5年前(ha)(ウ) (平成17年)	増 減		基準年(ha)(エ) (平成22年)	増 減	
			面 積 (ha) (イ-ア)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)		面 積 (ha) (ウ-イ)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)		面 積 (ha) (エ-ウ)	率[(エ-ウ)/ウ] ×100(%)
都市計画区域の面積	6635	6635	0	0.00	6635	0	0.00	6635	0	0.00
市街化区域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市街化調整区域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準都市計画区域の面積	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3) 地価の経年変化	15年前(円/m ²)(ア) (平成7年)	10年前(円/m ²)(イ) (平成12年)	増 減		5年前(円/m ²)(ウ) (平成17年)	増 減		基準年(円/m ²)(エ) (平成22年)	増 減	
			地価(円/m ²) (イ-ア)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)		地価(円/m ²) (ウ-イ)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)		地価(円/m ²) (エ-ウ)	率[(エ-ウ)/ウ] ×100(%)
市町村の平均価格 (円/m ²)	101,067	86,475	-14,592	-14.44	66,125	-20,350	-23.53	60,775	-5,350	-8.09

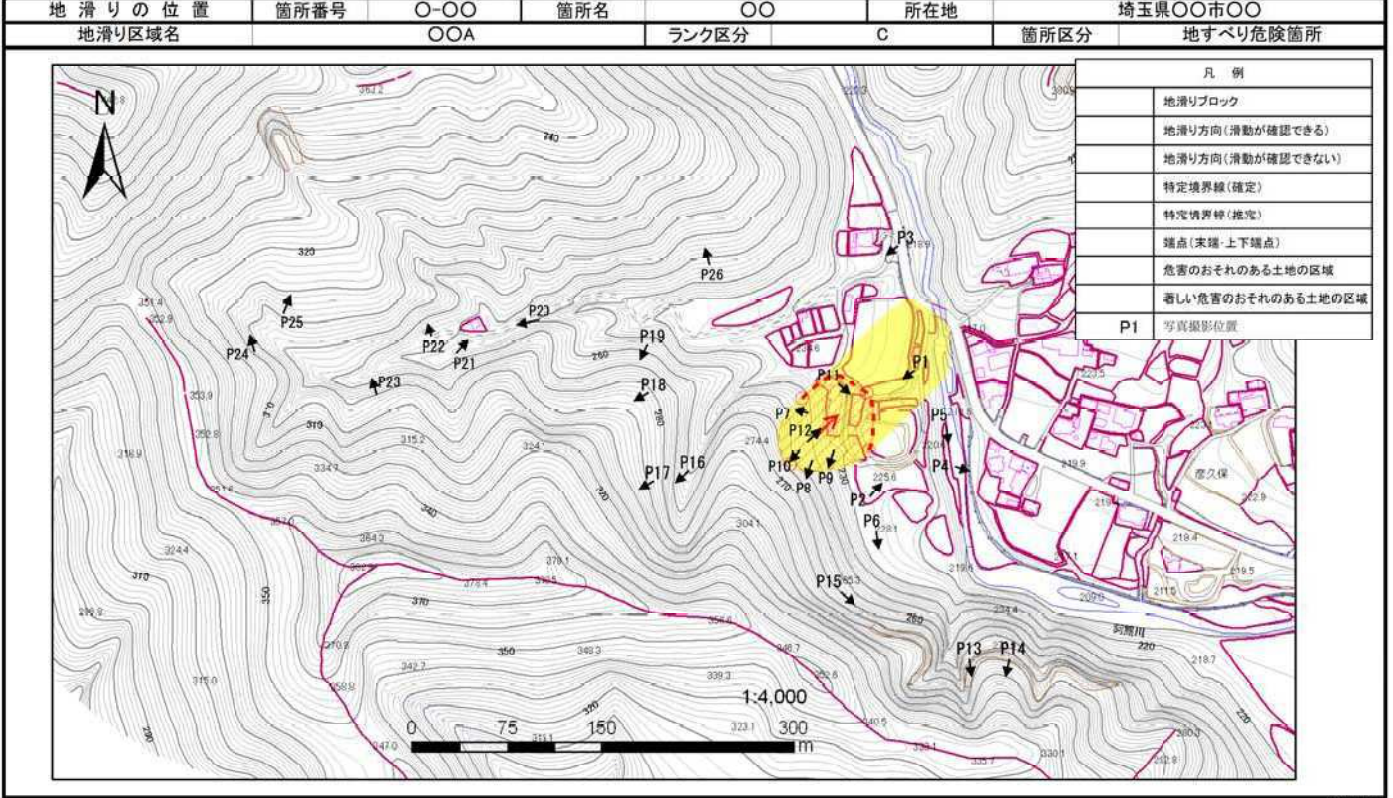
4) 建築確認申請の状況	10年前の申請数の 合計(件)(ア) (平成12年)	5年前の申請数の 合計(件)(イ) (平成17年)	増 減		基準年の申請数の 合計(件)(ウ) (平成22年)	増 減		出 典
			申請数(件) (イ-ア)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)		申請数(件) (ウ-イ)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)	
専用 一戸建住宅	-	-	-	-	-	-	-	1)人口の経年変化 ・国勢調査 2)都市計画区域の変遷 ・埼玉県HP(S24年に区域指定) 3)地価の経年変化 ・国土交通省 土地総合情報システム ・住宅地および住宅見込地の平均値 4)建築確認申請の状況 ・埼玉県HP(埼玉県統計年鑑) 5)農地転用の状況 ・秩父市HP(H17~H19のみ公表)
住宅 共同・その他	-	-	-	-	-	-		
併用住宅	-	-	-	-	-	-		
合 計	380	379	-1	-0.26	268	-111	-29.29	

5) 農地転用の状況	2年前の申請数の 合計(件)(ア) (平成17年)	1年前の申請数の 合計(件)(イ) (平成18年)	増 減		基準年の申請数の 合計(件)(ウ) (平成19年)	増 減	
			申請数(件) (イ-ア)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)		申請数(件) (ウ-イ)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)
一般住宅	-	-	-	-	-	-	-
その他の住宅	-	-	-	-	-	-	-
合 計	263	311	48	18.25	299	-12	-3.86

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査

様式3-6 現地写真・スケッチ等の位置図



埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等




埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地滑りの位置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所	
							
調査対象	地滑りブロック外側			写真番号	P2		調査対象
コメント:	遷緩線付近の状況。 緩斜面の地形が広がる。 平坦地は阿熊川の段丘面であると思われる。			写真番号			
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日:			

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度


地滑りの位置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所	
							
調査対象	地滑りブロック外側			写真番号	P3		調査対象
コメント:	地すべり危険箇所の看板。			写真番号	P4		
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日			

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所	
							
調査対象	地滑りブロック外側		写真番号	P5	調査対象	写真番号	
コメント:	河床と対岸道路の比高は6m程度である。				コメント:		
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日:			

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">a'ブロック</p>  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div>							
調査対象	地滑りブロック外側		写真番号	P6	調査対象	地滑りブロック側方部(右側)付近	
コメント:	阿熊川の支流となるV字地形の沢が存在する。 現地と基盤図に相違あり。				コメント:	aブロック 当該地では、尾根地形が地滑りブロック右側方に相当するものと推定される。 樹木の根曲がり、傾倒が見られる。	
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日			

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所
						
調査対象	地滑りブロック地内		写真番号	P8		
コメント :	aブロック 樹木の根曲がりや傾倒が多く見られる。 地盤がやや緩い。					
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日		
調査対象	地滑りブロック側方部(左側)付近		写真番号	P9		
コメント :	aブロック 当該地では、尾根地形沿いに側方崖が形成されており、地滑りブロック 左側方に相当するものと推定される。					

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所
						
調査対象	地滑りブロック頭部付近		写真番号	P10		
コメント :	aブロック 冠頭部と頭部境界には、遷線線が確認されるが、境界は不明瞭である。					
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日		
調査対象	地滑りブロック末端部付近		写真番号	P11		
コメント :	aブロック 末端部では、押し出し地形が確認される。					

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所	





調査対象	地滑りブロック地内	写真番号	P12	調査対象	地滑りブロック外側	写真番号	P13
コメント:	aブロック 人家等の立地により地形改変されている。 当該地滑りブロックは下方の谷地形方向に移動するものと推定される。			コメント:	砂岩の大露頭が連続している。		
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日			

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所	





調査対象	地滑りブロック外側	写真番号	P14	調査対象	地滑りブロック外側	写真番号	P15
コメント:	砂岩からなる連続露頭が分布している。			コメント:	緩やかな尾根地形となっている。 地滑り変状は認められない。		
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日			

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇		
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分	C		箇所区分	地すべり危険箇所		
								
調査対象	地滑りブロック外側		写真番号	P16		調査対象	地滑りブロック外側	
コメント:	変状のない硬質な砂岩露頭が確認される。 周辺に地すべりは存在しないと判断される。 少量の流水が見られる。				緩い落差が見られるが、段丘地形の落差であるものと推定される。 亀裂等は見られず、地すべり由来のものではない。			
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度


地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇		
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分	C		箇所区分	地すべり危険箇所		
								
調査対象	地滑りブロック外側		写真番号	P18		調査対象	写真番号	
コメント:	尾根部の状況。 開口亀裂などは見られない。				コメント:			
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日:				

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所
						
調査対象	地滑りブロック外側	写真番号	P19	調査対象		写真番号
コメント:	小崩壊地形が確認されるが、表層崩壊のみである。			コメント:		
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日:		

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所
						
調査対象	地滑りブロック外側	写真番号	P20	調査対象	地滑りブロック外側	写真番号
コメント:	山道法面は砂岩露頭が連続している。 周辺に地すべりが存在することは考えにくい。			コメント:	別荘と思われる建物。 人が居住している形跡なし。	
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日		

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地滑りの位置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所	

			
調査対象 地滑りブロック外側	写真番号 P22	調査対象 地滑りブロック外側	写真番号 P23
コメント： 宅地周辺の砂岩露頭。 露頭が連続して分布しており、周辺に地すべりが存在するとは考えにくい。		コメント： 砂岩の露頭。 硬質で、周辺に亀裂などは見られない。	
撮影年月日：平成 〇〇年 〇月 〇日		撮影年月日：平成 〇〇年 〇月 〇日	

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 書

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成〇〇年度

地滑りの位置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇	
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所	

			
調査対象 地滑りブロック外側	写真番号 P24	調査対象 地滑りブロック外側	写真番号 P25
コメント： 砂岩の露頭。 硬質で周辺に亀裂などの変状は見られない。		コメント： 砂岩の露頭。 周辺は、表土が薄く、斜面のいたる箇所に砂岩が露出している。 周辺に地すべりがあるとは考えにくい。	
撮影年月日：平成 〇〇年 〇月 〇日		撮影年月日：平成 〇〇年 〇月 〇日	

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査

様式3-7(3) 現地写真・スケッチ等

地 滑 り の 位 置		箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名		〇〇A	ランク区分		C	箇所区分	地すべり危険箇所
							
調査対象	地滑りブロック外側		写真番号	P26	調査対象	写真番号	
コメント:	山腹の状況。 亀裂等確認されず、周辺に地すべりは存在しない。				コメント:		
撮影年月日: 平成 〇〇年 〇月 〇日				撮影年月日:			

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査

様式4-1 地滑り区域設定根拠

地 滑 り の 位 置		箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名		〇〇A	箇所区分			箇所区分	地すべり危険箇所

地滑りブロック統合					地滑り区域設定	
地滑りブロック統合の有無	無				地 滑 り 区 域 名	〇〇A
統合する地滑りブロック名	ランク区分 ※	地滑りブロックの形状		地滑り区域の 種類・形態	地滑り区域 名	地滑り区域の長さ L(m)
		長さ(m)	幅(m)			164
						地滑り区域の幅 W(m)
						67
						地滑りの滑动状況
						滑动が確認できない
						判断の根拠
						①現地調査で地滑り滑动の兆候は認められない。 ②動態観測は実施していない。 →①、②により、滑动は確認できない。
						輪郭および末端部の明瞭性
						確定できない
						判断の根拠
						空中写真判読および現地調査を行った結果、地滑りブロックの頭部、側方部、末端部の明瞭性は確認できなかった。
						ランク区分
						C

※地滑りブロックの段階でランク区分をする場合に記入

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式4-2 危害のおそれのある土地等の設定根拠

調査年度 平成〇〇年度

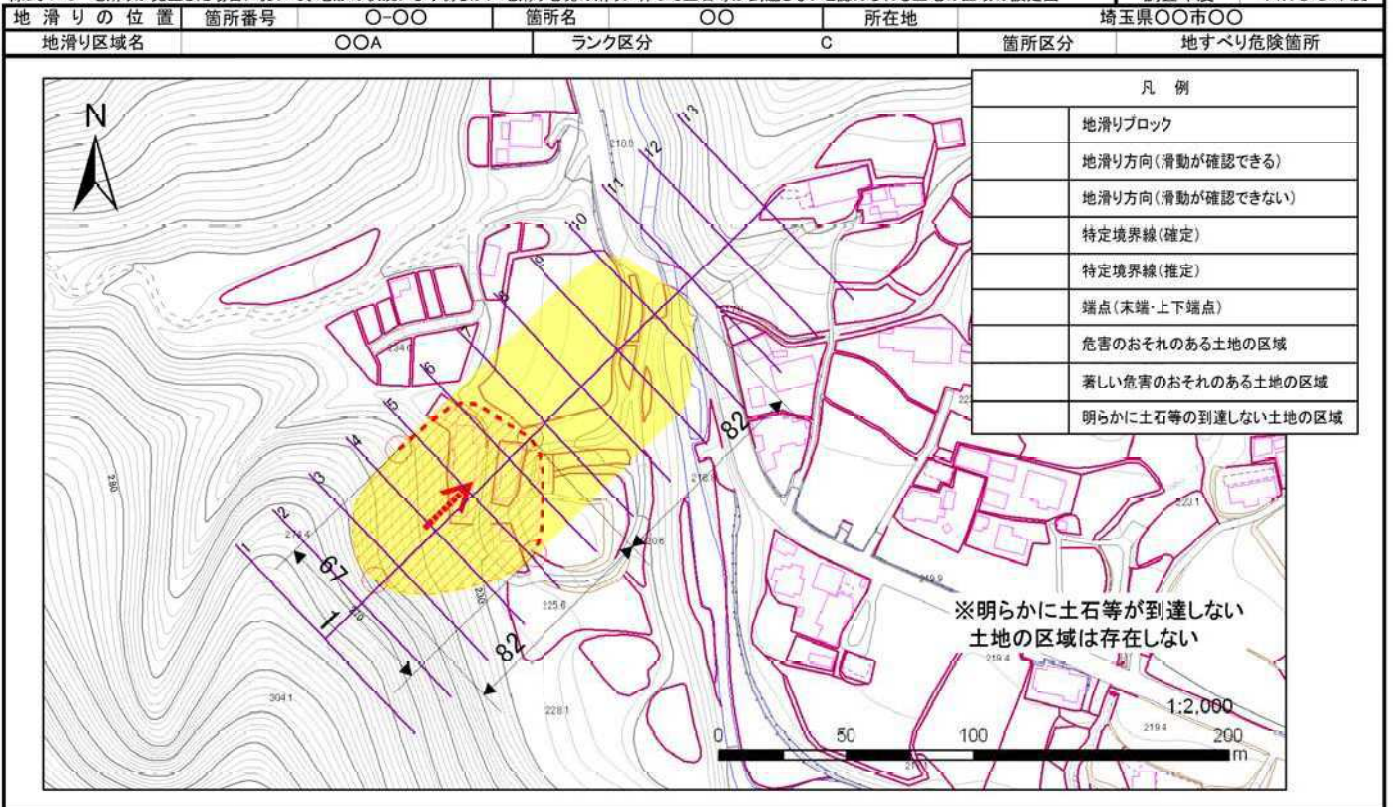
地 滑 り の 位 置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A		ランク区分	C	箇所区分	地すべり危険箇所
地滑り区域の地形状況						
地 滑 り 区 域 の 規 模						地 滑 り 方 向 (°) (北0°, 時計回り)
長さ L (m)	幅 W (m)	最大幅 Wmax (m)	層厚 D (m)	地滑り層厚の設定根拠		
161	67	67	8	当該地滑り区域の縦断面図より推定。		
地滑り区域の地質状況						
地滑りの分類/種類	地滑り地塊の土質	基盤地質名	地滑り地塊の土質定数			
			単位体積重量 γ (kN/m ³)	内部摩擦角 ϕ (°)	設定の根拠	
第三紀層地滑り/崩積土地滑り	礫混じり土砂	秩父盆地層群	18	25	γ については既往の値がないため、18kN/m ³ を採用。 ϕ については既往の試験値がないため、25°を採用。	
危害のおそれのある土地等の設定						
地滑りの方向 (°)	44	地滑り方向の設定根拠 現地調査から地滑りブロック末端部付近にある谷地形方向に移動するものと判断した。				
地滑りブロック末端位置の設定 (特定境界線の設定)	危害のおそれのある土地の設定			著しい危害のおそれのある土地の設定		
	区域の設定規模			区域の設定規模		
	長さ L1 (m)	幅 W (m)	設定の有無	長さ L2 (m)	幅 W (m)	
推定	164	67	無	-	-	
危害のおそれのある土地の 区域設定に関する特記事項	現地調査により、当該箇所には地滑り方向を規制する条件は確認されなかったことから、地滑りブロックを移動方向と平行な方向に設定した。 危害のおそれのある土地の区域を規制する地形は認められない。					
著しい危害のおそれのある土地の 区域設定に関する特記事項	-					

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式4-3 地滑りが発生した場合において、地形の状況により明らかに地滑り地塊の滑りに伴って土石等が到達しないと認められる土地の区域の設定図

調査年度 平成〇〇年度



埼玉県

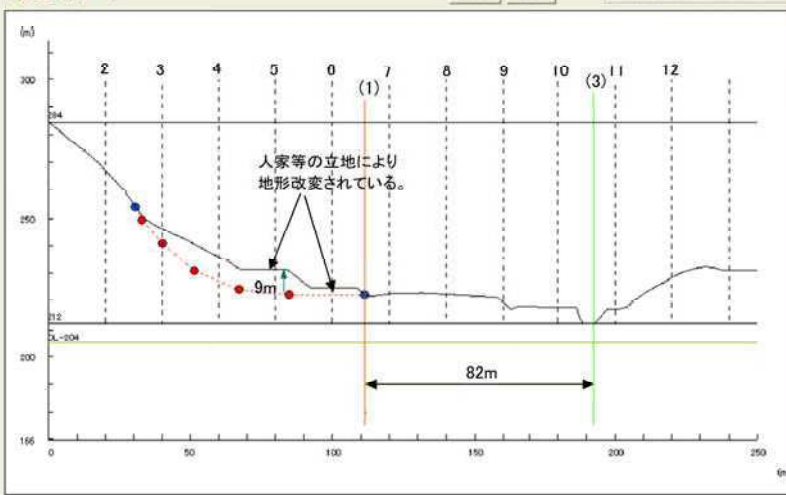
地 滑 り 区 域 調 査 書

様式4-4 危害のおそれのある土地等の設定断面図

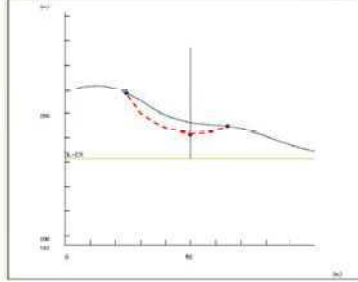
調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り の 位 置	〇-〇〇	箇 所 名	〇〇	所 在 地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分	C	箇所区分	地すべり危険箇所

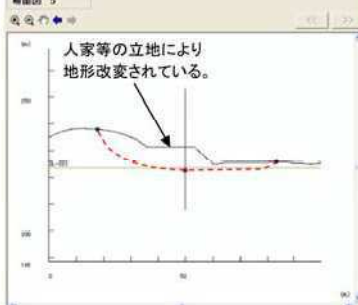
縦断面



断面図 3



断面図 5



区域区分

番号	項目
(1)	地滑り区域の下端
(2)	著しい危害のおそれのある土地の下端
(3)	危害のおそれのある土地の下端
(4)	計算結果による著しい危害のおそれのある土地の下端
(5)	計算結果による危害のおそれのある土地の下端

埼玉県

地 滑 り 区 域 調 査 書

様式4-5 著しい危害のおそれのある土地等の設定に関する計算結果

調査年度 平成〇〇年度

地 滑 り 箇 所	〇-〇〇	箇 所 名	〇〇	所 在 地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑り区域名	〇〇A	ランク区分	C	箇所区分	地すべり危険箇所

計算に用いるパラメータ	計算結果(ランク区分がAの場合のみ該当)														
土石等の単位体積重量 $\gamma = 18$ (kN/m ³)	$\frac{\cos \phi}{1 - \sqrt{2} \sin \phi} = 2.253$		$\tan \phi = 0.466$		$F1_{max} = 0.0$		$W2_{max} = 0.0$								
土石等の内部摩擦角 $\phi = 25$ (°)															
地滑り区域の長さ $L = 164$ (m)															
計算式	x (m)	F1 (KN/m ²)	W2 (KN/m ²)	H4 (m)	判定	x (m)	F1 (KN/m ²)	W2 (KN/m ²)	H4 (m)	判定	x (m)	F1 (KN/m ²)	W2 (KN/m ²)	H4 (m)	判定
① 移動による力(F1) $F1 = \gamma(L-x) \left(\frac{\cos \phi}{1 - \sqrt{2} \sin \phi} \right)^2 \tan \phi$ ただし、 $F1 = 2\gamma \left(\frac{\cos \phi}{1 - \sqrt{2} \sin \phi} \right)^2 \tan \phi$ を超えないものとする F1: 移動による力が建築物に作用した時から30分間が経過した時の建築物に作用すると想定される力の大きさ(kN/m ²) x: 地滑りブロック下端から当該建築物までの地滑り方向における水平距離(m)															
② 通常の建築物の耐力(W2) $W2 = \frac{106.0}{H4(8.4 - H4)}$ W2: 通常の建築物の耐力(kN/m ²) H4: 地滑り地境の滑りに伴って生じた土石等の移動により力が通常の建築物に作用する場合の土石等の高さ(m) $H4 = (L-x) \tan \phi$ ただし、 $H4 = 2 \tan \phi$ を超えないものとする															
③ 著しい危害のおそれのある土地の区域 $F1 > W2$ となる土地の区域 ただし、地滑り区域の下端から地滑り方向への水平距離で最大60mの範囲															

著しい危害のおそれのある土地の区域は設定しない

埼玉県